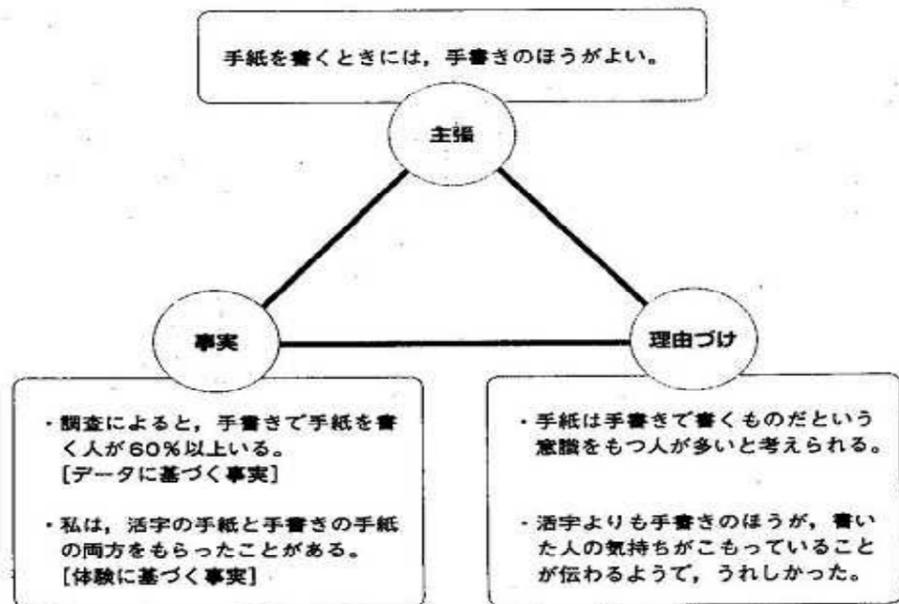


霧島市「今週の一問」 中3国語 六月二十九日版  
H二十八鹿児島学習定着度調査問題(中2) から



1 高橋さんのグループは「手紙を書くときは、手書きと活字はどちらがよいか」というテーマで意見文を書くことにした。高橋さんは、主張を明確にするためには、しっかりと理由づけが必要だと考え、次のように図式化した。これを読んであとの各問いに答えなさい。  
【論理の図式】



種類	特長
とうかつがた 頭括型	結論や主張を最初に置くため、読み手に簡潔に伝わりやすい。
びかつがた 尾括型	結論や主張を最後に置くため、読み手の興味や関心をひきつけやすい。
そうかつがた 双括型	結論や主張を最初と最後の二か所に置くため、主張と論理の関係や、結論が捉えやすい。

【高橋さんの班の意見文】  
《テーマ》  
よい手紙を書くときには、手書きと活字ではどちらが

最近、私たちは、国語の授業で合唱コンクール、挿絵も得意な人を作成しました。私たちの班は手書きで、挿絵も得意な人が分擔して描きました。他の班ではパソコンを駆使した案内文もあり、どれもが見せたい案内文と個人的な手紙だったら、手紙があるのかという意見が出ました。そこで、私たちは、手紙を書くときは手書きと活字とでは、どちらのほうがよいのかについて、「事実」「理由づけ」「主張」とに分けて考えてみることにしました。

まず、「事実」として、二つのことがあります。一つは、「文字の手書き」としての調査で、「手紙は手書きで書く」という人が60%以上いることです。もう一つは、手書きと両方の手紙をもらうことがあるという事です。

次に、「理由づけ」としてこのように考えました。一つは、事実である「手紙は、半数以上の方が手書きで書く」ということから、手紙は手書きで書くものだという意識をもつ人が多いだろうと考えました。二つめは、事実から、手紙は手書きで書くよりも手紙は手書きのほうが、書いた人の気持ちが伝わるように、手紙は手書きで書くほうがよいだろうと考えました。

他、私も同じように、手紙は手書きで書くものだという意識をもつ人が多いだろうと考えました。二つめは、事実から、手紙は手書きで書くよりも手紙は手書きのほうが、書いた人の気持ちが伝わるように、手紙は手書きで書くほうがよいだろうと考えました。

このように、「理由づけ」としてこのように考えました。一つは、事実である「手紙は、半数以上の方が手書きで書く」ということから、手紙は手書きで書くものだという意識をもつ人が多いだろうと考えました。二つめは、事実から、手紙は手書きで書くよりも手紙は手書きのほうが、書いた人の気持ちが伝わるように、手紙は手書きで書くほうがよいだろうと考えました。

一 説得力を高めるために高橋さんの中から一工夫したこととして、  
「で、ないものを、次のアからオの中から一工夫したこととして、

オエウイア  
主張を支える根拠として、客観的な事実を挙げて考えている。  
事実と主張を結びつけるために、接続詞を効果的に用いている。  
主張が明確になるように、接続詞を効果的に用いている。  
主張が明確になるように、接続詞を効果的に用いている。  
主張が明確になるように、接続詞を効果的に用いている。

高橋さんたちの班では作成した【意見文】について、次のように三の問いに答えなさい。次の【会話文】を読んで、あとの二、

高橋 「前の時間の話し合いから『手紙を書くときは、手書きのほうがよい』と結論付けたけど、みんなは実際には手書きのほうがよいと思

折田 「手紙は手書きだというイメージが強いよね。」

加藤 「確かにね。でも文字が丁寧だと楽しいけど、活字のほうが読みやすいし、書いたり直したりするの楽だよ。」

高橋 「私は活字の手紙も手書きの手紙もどちらももらったことがあるけど、手書きのほうがなんだか嬉しかったな。」

折田 「思いがこもっているというか、伝わるというか。」

高橋 「そうだよ。どっちにもよさがあるから、どっちの意見も出るよ。うな気がするよ。」

加藤 「そうだな。実際に活字の手紙でもいいような気もするし…」

高橋 「そのためにも、意見文を書くときに、しっかりと理由づけをして、主張を明確にする必要があると思うの。」

折田 「明確な調査結果のデータや体験があると分かりやすいね。」

高橋 「手紙は手書きという意識をもつ人が多いよだし、理由づけはできるよ。」

加藤 「だから、手書きがよいという主張で完成させられるよ。」

折田 「文章構成は、『頭括型』『尾括型』『双括型』のどれにする。」

高橋 「さっきで『事実』『理由づけ』『主張』を踏まえて、あとには意見と反論についても考えて意見文を完成させよう。」

二 【会話文】の中に折田さんの「文章構成は、『頭括型』『尾括型』『双括型』のどれにする」とあるが、高橋さん「も適切な意見文」はどの文章構成で書かれて選ばれるか。その番号を書きなさい。

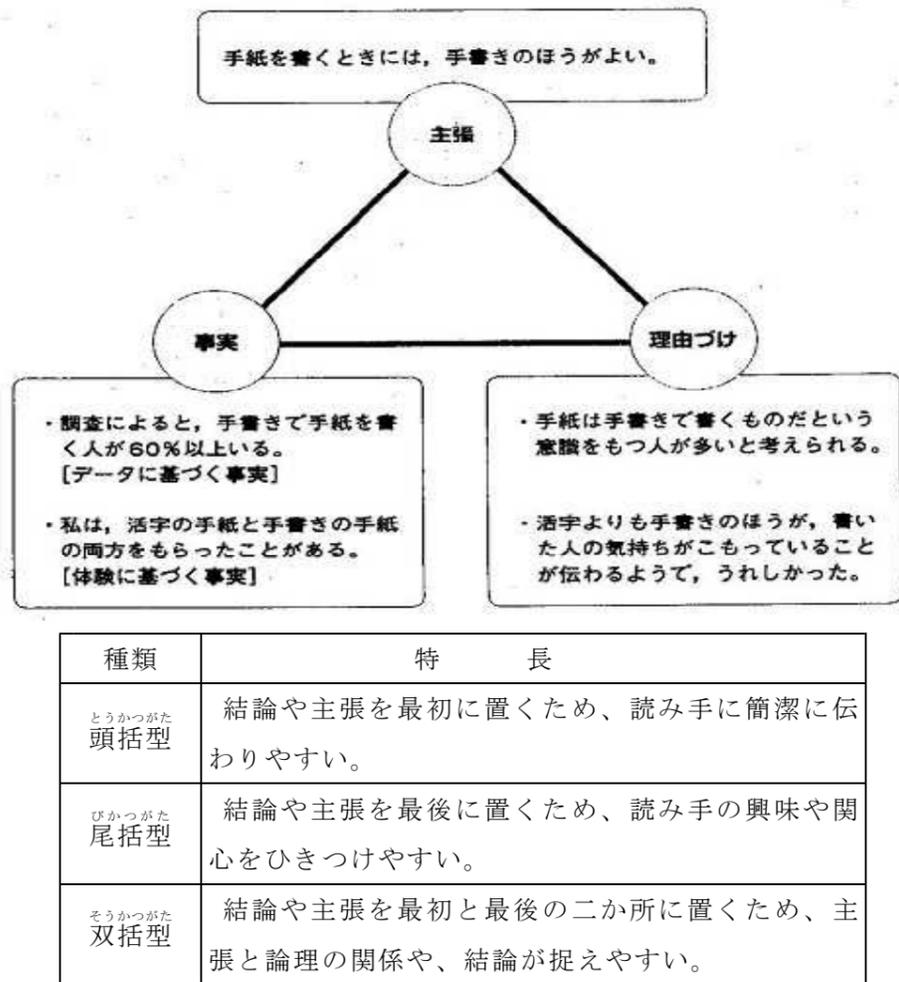
- 1 頭括型
- 2 尾括型
- 3 双括型

三 【会話文】の中に、「主張を支える根拠と反論を書き加えても考えてはまる表現を二十以上四十字以内で書け。」


霧島市「今週の一問」 中3国語 六月二十九日版  
H二十八鹿児島学習定着度調査問題(中2) から



1 高橋さんのグループは「手紙を書くときは、手書きと活字はどちらがよいか」というテーマで意見文を書くことにした。高橋さんは、主張を明確にするためには、しっかりと理由づけが必要だと考え、次のように図式化した。これを読んであとの各問いに答えなさい。  
【論理の図式】



【高橋さんの班の意見文】  
《テーマ》  
よい手紙を書くときには、手書きと活字ではどちらが

最近、私たちは、国語の授業で合唱コンクール、挿絵も得意な人を作成しました。私たちの班は手書きで、挿絵も得意な人が分擔して描きました。他の班ではパソコンを駆使した案内文もあり、どれもが素晴らしい案内文でした。そんなとき、たかさんの人に見せる案内文と個人的な手紙だったら、手紙を書くときは手書きと活字とでは、どちらのほうがよいのかについて、「事実」「理由づけ」「主張」とに分けて考えてみることにしました。

まず、「事実」として、二つのことがあります。一つは、「文字の手書き」についての調査で、「手紙は手書きで書く」という人が六〇%以上もいることです。もう一つは、手書きと両方の手紙をもらうことがあるといふことです。

次に、「理由づけ」としてこのように考えました。一つは、事実である「手紙は、半数以上の方が手書きで書く」ということから、手紙は手書きで書くものだという意識をもつ人が多いため、手紙は手書きで書くことの方がよいという考えです。手紙は手書きで書くことの方がよいという意識をもつ人が多いため、手紙は手書きで書くことの方がよいという考えです。

しかし、反対の意見もあるかもしれません。もちろん、案内文などは活字でもよいかもしれませんが、多くの人が向けたところでは、手紙に限っては、書いた人の気持ちがこもっていることが伝わり、喜んでもらえる手書きのほうがよいという考えです。「手紙は手書きで書くほうがよい」というのが私たちの班の結論です。

1 説得力を高めるために高橋さんの中から一工夫したこととして、  
「で、ないものを、次のアからオの中から一工夫したこととして、  
【エ】

オエウイア  
主張を支える根拠として、客観的な事実を挙げて考えている。事実と主張を結びつけるために、接続詞を効果的に用いている。主張が明確になるように、接続詞を効果的に用いている。主張が明確になるように、接続詞を効果的に用いている。

高橋さんたちの班では作成した【意見文】について、次のように三の問いに答えなさい。次の【会話文】を読んで、あとの二、

高橋 「前の時間の話し合いから『手紙を書くときは、手書きのほうがよい』と結論付けたけど、みんなは実際には手書きのほうがよいと思

折田 「手紙は手書きだというイメージが強いよね。」

加藤 「確かにね。でも文字が丁寧だと楽しいけど、活字のほうが読みやすいし、書いたり直したりするのめんどいよね。」

高橋 「私は活字の手紙も手書きの手紙もどちらももらったことがあるけど、手書きのほうがなんだか嬉しかったな。」

折田 「思いがこもっているというか、伝わるというか。」

高橋 「そうだよ。どっちにもよさがあるから、どっちの意見も出るよ。うな気がするよね。」

加藤 「そうだな。実際に活字の手紙でもいいような気もするし…」

高橋 「そのためにも、意見文を書くときに、しっかりと理由づけをして、主張を明確にする必要があると思うの。」

折田 「明確な調査結果のデータや体験があると分かりやすいね。」

高橋 「手紙は手書きという意識をもつ人が多いよだし、理由づけはできるよね。」

加藤 「だから、手書きがよいという主張で完成させられるよね。」

折田 「文章構成は、『頭括型』『尾括型』『双括型』のどれにする。」

高橋 「さっきで『事実』『理由づけ』『主張』を踏まえて、あとは意見と反論についても考えて意見文を完成させよう。」

二 【会話文】の中に折田さんの「文章構成は、『頭括型』『尾括型』『双括型』のどれにする。」とあるが、高橋さんも適当な意見文の、次の1から3の構成の中から一つ選び、その番号を書け。

- 1 頭括型
- 2 尾括型
- 3 双括型

三 【会話文】の中に、「主張を支える根拠と反論を書き加えても考えてみる」という表現を参考に、二十字以上四十字以内で書け。

(例)	だ、活字のほうの手書きよりも読みやすい
(三四字)	書くほうが書き直したりするのめんどい

